

まちの話題



チエント・ミリアかみつえ

クラシックカーやスポーツカーが街を駆け抜けるレース「チエント・ミリアかみつえ」が4月14日、15日に行われ、国内外の名車55台が、熊本・大分・宮崎の3県を駆け抜けました。

主催は「自動車道楽倶楽部プレディレッタ」（横浜市）。今年で12回目を迎えるこの大会は、大分県日田市をスタート、2日間かけて3県を回り、菊池市のゴールを目指します。約320キロ走行、途中の決められたポイントで押したスタンプの数や、クイズの正解数などで順位が決まります。このレースで15日、馬見原商店街がスタンプリポイントとなり、プリンススカイライン、トヨタ2000GT、ホンダS600、ポルシェ、ロータス、アルファロメオなど、歴史的なスポーツカーや名車が、石畳と白壁の馬見原商店街に並びました。



浜町軽トラ市

3月27日と28日に行われた浜町商店街の初市。27日には「軽トラ市」が開催され、「島木のおみせ」などの出店のほか、牛深ハイヤ産直隊の出店があり、新鮮な海産物が買い物を喜ばせました。今年は牛深市の婦人会のメンバーで結成された「牛深ハイヤ桃の会」14人が、会場となった本さつまや前の駐車場などでハイヤ踊りを披露し、観客から大きな拍手を受けていました。さらに、バナナの叩き売り（山鹿市保存会）の口上や坂本春男さんの大道芸などが会場を盛り上げ、一日中賑やかな声が商店街を包み込みました。



牛深ハイヤ桃の会による踊り

新年度に新たな仲間

新年度が始まり、町内の各事業所で入社式がありました。このうち、今年開業10周年をむかえる(有)虹の通潤館（代表取締役甲斐利幸・従業員49人）では、3月29日に入社式を行いました。今回入社したのは、3月に矢部高校を卒業した飯星智也さん（仏原）。通潤山荘の矢部高校からの新卒採用は6年ぶり。飯星さんは、清和中・矢部高在学中の職場体験学習で、2度とも通潤山荘を希望し、接客などを体験しています。



入社式で決意を延べる飯星智也さん

「以前から接客やサービス業を希望していて、2回の職場体験が入社する大きな決め手でした。今は不安も大きいですが、一日も早く仕事に慣れて、役に立てるようがんばりたい」と仕事への意欲を見せていました。

田小野卒業生を送る会

3月16日、12回目となる「卒業を祝う会」が田小野公民館で行われました。これは、田小野地区の中学・高校を卒業する子どもたちを激励しようと、公民館支館長をはじめとする地域の方々や卒業生の保護者が毎年実施しているものです。今年卒業を迎えたのは、中学校を卒業する柿田達彦さん、園田将太郎さん、成瀬傑さん、岩崎友郁さんの4人。出席者からの温かい激励の言葉を受けたあと、卒業生4人が就職先や進学先での抱負や目標などを力強く語りました。



卒業を祝う会出席者の皆さん

大野小が遠歩に挑戦

大野小学校で15年以上続いている伝統の「卒業記念遠歩」が3月17日に行われました。3月で閉校した大野小学校。その最後の卒業生6人とその保護者、そして参加を希望した在校生や教諭が、熊本市から大野小学校までの約60kmを歩きました。17日午前0時に熊本市の加藤神社をスタートした一行は、国道445号線・218号線沿いを歩き、ゴールの大野小学校を目指します。途中、大雨に打たれるなど状況は厳しいものでしたが、車両伴走、炊き出しなど保護者や教諭の力強いサポートを受け、午後4時に無事ゴールしました。



悪天候の中無事ゴールした卒業生6人

少女神楽の奉納

4月3日、五穀豊穡と無病息災を祈る男成神社の祇園大祭が行われました。氏子たちや地域の方々が多数見守るなか、少女神楽が奉納されました。舞いを奉納したのは地元御岳地域の子どもたち4人。扇や鈴をもち、古式ゆかしい荘厳な舞いを優美に奉納しました。

その後、井上京子劇団による芝居の上演や、地域の方による山菜料理などのおもてなしがありました。



少女神楽

こたつde初市

3月24、25日に春を告げる初市が馬見原商店街で行われました。「こたつde初市」と銘打ったこの初市では、商店街の5カ所にこたつが準備され、会場を訪れた子どもたちや買い物客などがこたつでの休息を楽しんでいました。この日は通りに出店が並び、人力車やくまモントレインが通りを走るなど、商工会や商工会青年部の方々に力を入れたさんのイベントが準備されていました。なかでも、熱湯の中を流れるラーメンを箸ですくい、とんこつスープで食べる「流しラーメン」は、多くの参加者が挑戦していました。



こたつde初市(写真提供：寺崎彰さん)